

2010年度

科目名	図書館概論		
担当教員	前川 和子		
配当	文 1・教育1・人間1	コード	55100
開期	前期	講時	金曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	図書館とはなにか。図書館を多面的にとらえ、私たちの生活に無くてはならない図書館の理解を深める。		
目的と概要	学生にとり図書館は、レポート、論文作成、教養や知的好奇心を満たす、無くてはならない場所である。また市民にとっても公立図書館は、様々な情報要求にこたえる場所として必要不可欠な存在である。このような図書館についての館種、関連法規、図書館政策などは、図書館司書課程の基礎として、あるいは学生の教養として知っておかねばならない。図書館を取り巻く現在の問題についても解説する。		
成績評価法	各回の小レポート50%、期末試験50%を、あわせて評価する。		
テキスト	図書館概論 四訂版(JLA図書館情報学テキストシリーズ;1)/塩見昇/日本図書館協会		
参考書	図書館学概論(新図書館学シリーズ;1)/前島重方ほか/樹村房		
履修に当たっての注意・助言	身近に存在しているが、図書館は守り育てるべき機関であることを、認識できるようになっていただきたい。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館の意義：私たちにとって図書館とは何か 2. 図書館の法的基盤：図書館の種類ごとに法的基盤は異なる。図書館法、図書館関係法規 3. 図書館政策 4. 図書館の種類を知る (1) 国立国会図書館：日本の国立図書館は1館 5. 図書館の種類を知る (2) 公立図書館1：公共図書館と呼ばれている。その意味は。 6. 図書館の種類を知る (3) 公立図書館2：市民の情報の窓口 7. 図書館の種類を知る (4) 学校図書館：教育課程と密接な関係を持つ図書館 8. 図書館の種類を知る (5) 大学図書館：研究図書館、学術図書館、とも呼ばれる。 9. 図書館の種類を知る (6) 専門図書館：ある専門分野のみの資料・情報を提供 10. 公立図書館を巡る問題 (1) 戦後の歴史 11. 公立図書館を巡る問題 (2) 文庫活動、住民運動 12. 図書館を育てたひとびと：アメリカの場合 13. 図書館関係団体：図書館協会、図書館関係学術団体 14. 海外の図書館：アメリカ、イギリス、中国など 15. まとめ 			